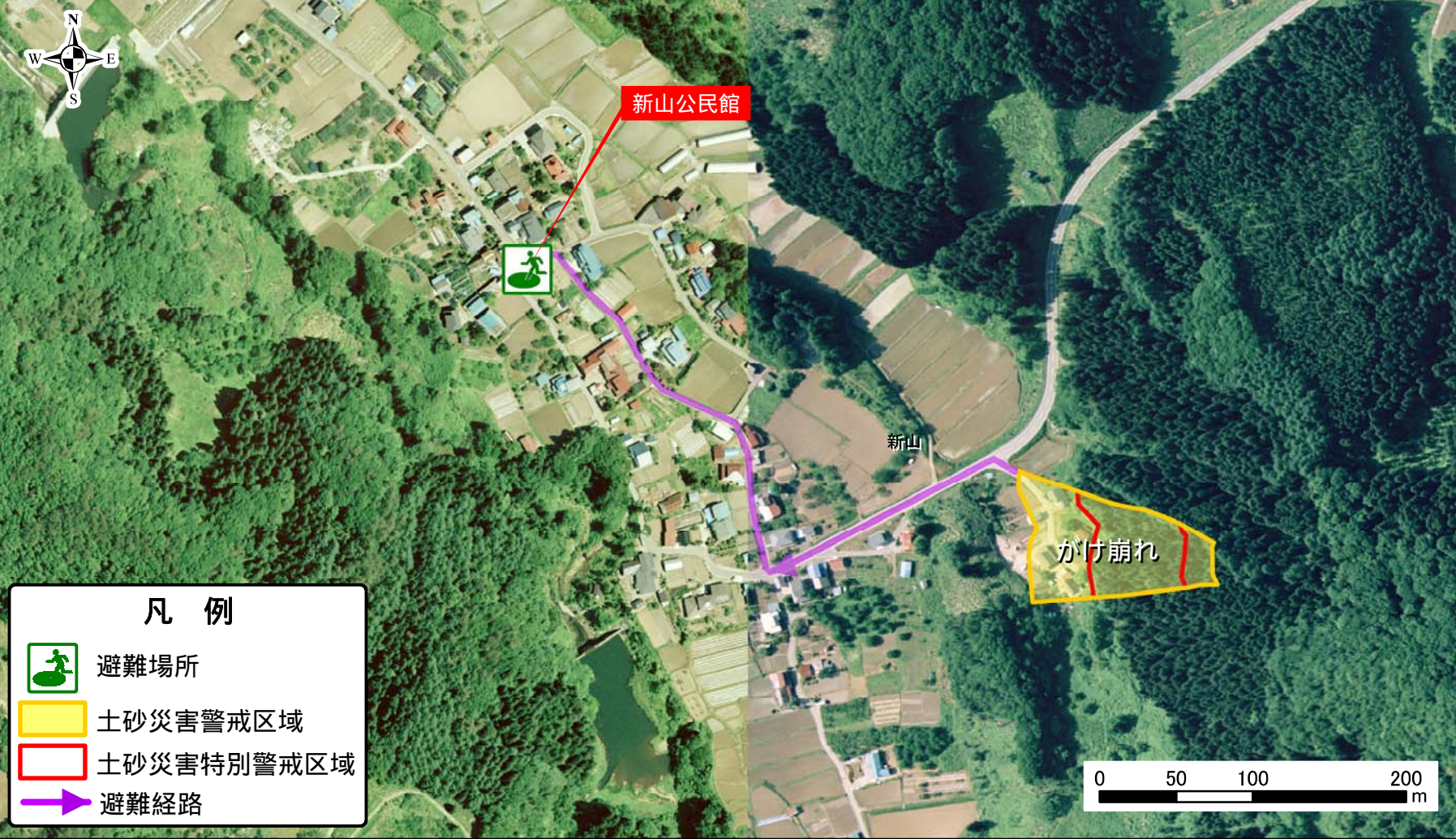


村山市土砂災害ハザードマップ 【新山地区】

土砂災害警戒区域や避難場所を確認しておきましょう



凡例

- 避難場所
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域
- 避難経路

航空写真撮影年度：平成12年度

雨が強くなってきたら、積極的に雨量情報、予報、警報等の情報を入手しましょう

まずはテレビやラジオ等で気象情報を確認し、雨が強くなってきたら、インターネットでも確認しましょう。



「山形県 河川・砂防情報システム」ホームページアドレス
パソコン用
<http://www.kasen.pref.yamagata.jp/>
携帯電話用
<http://www.kasen.pref.yamagata.jp/mobile/>
山形県河川・砂防情報メール配信登録
<http://www.kasen.pref.yamagata.jp/mail/>

前兆現象を見つけたら直ちに行政委員・市役所などに連絡しましょう

土砂災害の種類と特徴

種類	がけ崩れ	土石流	地すべり
特徴	地中にしみこんだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることを言います。	山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって、一気に下流へ押し流されるものを言います。	斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によって、ゆっくりと斜面下方に移動する現象を言います。
前兆現象	がけに割れ目が見える。がけから水が湧き出ている。がけから小石がばらばらと落ちてくる。	山鳴りがする。急に川の流れが濁り、流木が混ざっている。雨が降り続けているのに川の水位が下がる。	沢や井戸の水が濁る。地面にひび割れができる。斜面から水が湧き出す。

**警戒基準雨量を超えた場合
土砂災害が起りやすくなるので
注意してください!**

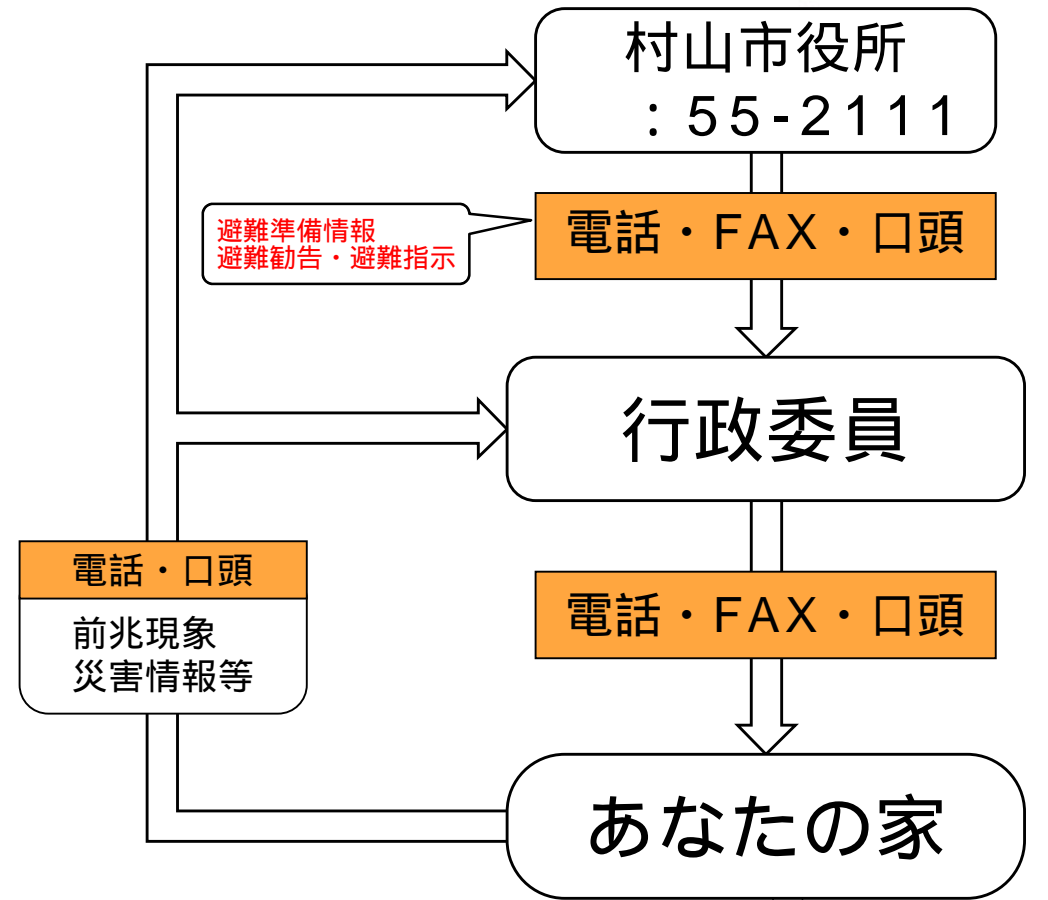
村山市の警戒基準雨量は
**合成実効雨量 236mm以上
又は
1時間降雨量 20mm以上**

雨の降り方と強さ

1時間雨量	10～20mm	20～30mm	30～50mm	50～80mm
雨の降り方	地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。	土砂降りの雨。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。テレビ・ラジオなどで今後注意しましょう。	バケツをひっくり返したような雨。がけ崩れや山崩れも起りやすく、道路規制も行われます。	滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。中小の河川は氾濫し、水害の可能性が高まります。

避難準備情報が出たら
家族等との連絡、非常用持出品の用意等、避難準備を開始してください。
避難勧告が出たら
計画された避難場所等への避難行動を開始してください。
避難指示が出たら
避難していない場合は、避難行動に移るとともに、避難場所への避難が困難な場合には、周囲の建物より比較的高い建物（鉄筋コンクリート等の堅固な建物）の2階以上（斜面と反対側の部屋）に避難するなど、生命を守る最低限の行動をしてください。

家族と連絡がとれない時は
NTT災害用伝言ダイヤル活用（忘れてイナイ）
メッセージの録音：市外局番+171+1+自分の家の番号
メッセージの再生：市外局番+171+2+自分の家の番号
携帯電話からもかかります



避難のときは他の土砂災害危険箇所を避けた避難経路を選択しましょう

避難

施設名称	電話番号	所在地
避難場所		
新山公民館	-	櫛山2756-5
収容避難施設		
大倉小学校	55-2415	櫛山48-7

村山警察署 : 52-0110

村山市消防本部 : 55-2514

北村山公立病院 : 42-2111